

## バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】津別町バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )
		公表回	公表年月日				
18	2007.3.29			北海道	津別町	6,222	716.60
構想の要約		町内で発生する各種廃棄物系バイオマスを受け入れる堆肥センターと、道産トドマツ由来の製材残材等を利用するバイオマス発電施設との連携システム構築を中心に、農業資源・森林資源・家庭及び事業所から排出される有機資源廃棄物の循環活用に取り組み、耕畜林連携による循環型社会の構築を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①家畜排泄物・木屑・小麦ワラ堆肥化 ②家庭生ゴミ堆肥化 ③下水道汚泥堆肥化 ④未利用木質バイオマスのペレット・炭化					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油		果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他(                      )		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○			
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他(                      )				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料等)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他(                      )	

バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置：平成19年度一、津別町、木質バイオマス(林地残材等)木質ペレット製造施設整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

## バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

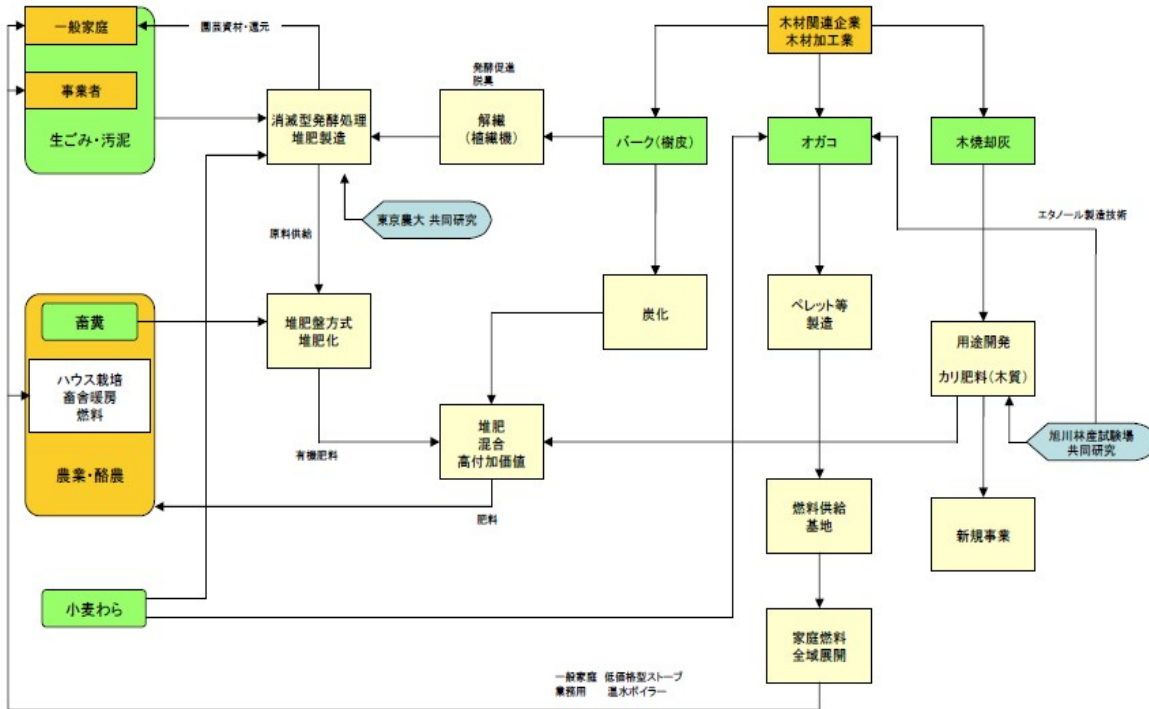
	現状(2004年)	目標(2010年)
廃棄物系バイオマス利用率	39.0%	99%
未利用系バイオマス利用率	8.60%	62%

廃棄物系バイオマスについては、現在39.0%の利用率(炭素量換算)だが、新設されるバイオマス発電施設と製材工場残材等のペレット燃料化による利活用を推進し、また、炭化による木酢液及び炭の利用により付加価値の高い堆肥化を行い利用率99%を目指す。

未利用バイオマスについては、現在8.6%の利用率(炭素量換算)だが、未利用林地残材については、地域性をいかした低コスト収集システムの構築をしてチップ及びペレット化・炭化をし、木質バイオマス燃料としてのエネルギー利用を推進する。小麦わら・稲わら・籾殻に関しては堆肥化を推進して利用率62%を目指す。

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)